

令和5年度 第1回久留倍官衙遺跡公園管理活用委員会 会議録概要

1 日時 令和5年8月4日（金）午後2時00分から午後3時00分

2 場所 大矢知地区市民センター

3 出席者（順不同・敬称略）

【委員】

小澤 毅委員長、小林 美和副委員長、中村 雄一委員、阪 早苗委員、伊藤 鈴子委員

【事務局】

四日市市シティプロモーション部文化課 中野千幸（課長）、葛山拓也（副参事兼課長補佐）
清水政宏（文化財グループリーダー）
石田智洋、大原涼子

4 傍聴者 なし

5 会議録（要旨）

（1）開会

あいさつ（略） 中野千幸 文化課長
事務局 職員紹介

（2）委員紹介

事務局：大矢知地区連合自治会長 中村雄一様、下野小学校長 小林美和様、久留倍官衙遺跡公園ボランティア 伊藤鈴子様にご就任いただいた。自己紹介をお願いしたい。
続いて、皆さまの自己紹介をお願いしたい。

（3）委員長、副委員長の選出

事務局：令和5年6月1日付けで、本会副委員長であった丹羽委員が離任されたことから、今期の副委員長の選任を行いたい。久留倍官衙遺跡公園管理活用委員会設置要綱 第5条では互選というになっている。事務局としては、副委員長を下野小学校長 小林委員にお願いしてはどうかと考えている。いかがか。

全委員：異議なし

(4) 報告事項

委員長：事務局より報告をお願いしたい。

事務局：令和5年度事業について、事務局より説明

委員長：ただ今の報告事項に関して、ご質問やご意見がありましたら頂戴したい。

委員：古墳、横穴式石室は記憶では初めて展示したような気がする。官衙の時代のものとは関係がないと言われたらそれまでだが、官衙時代のものではないという理由で無くなったが、もともとの辺りに有力者が住んでいて、その影響もあり官衙ができたという意味での歴史を表現してはどうか。官衙の時代だけだとこれといった出土品がなく寂しい。周辺から出土した食器類を展示したこともあるが、周りから出土したものの展示を増やした方が見栄えはするのではないか。

事務局：今回、夏季企画展で官衙の時代とは違うが、大刀を初めて展示した。官衙の出土品だけにこだわってでは展示品に限りがある。遺跡周辺にはたくさん出土遺物があり、それらを紹介していくのがより久留倍官衙遺跡の理解を深めるためにも有効になると思う。

委員：くるべ古代歴史館の前にあった古墳は無くなった。斎宮山にまだ円墳2基があり、1基は調べるために半分つぶしたようなというふうに聞いているが、登るようなルートをつくれれば散歩道にあたる。羽津地区では額突山の遥拝所といわれている所を整備して、その先に志氏神社の前方後円墳までを散策ルートとしている。東海道の散策ルートでは電車を利用してできるのではないか。

久留倍官衙遺跡周辺でも、昔の街道が残っているので、車の交通量のことはあるが、ひとつの手なのではないか。

委員長：周辺を含めた散策ルートはもちろん魅力的なことだと思う。予算等いろいろ問題はあると思うが、事務局としてはいかがか。

事務局：久留倍官衙遺跡だけでなく周辺に関心を持たれる方もいる。かつて斎宮山の山頂で遠足をしていたこともあるとかそういう話も聞いている。

委員：斎宮山の円墳まで行こうと考えると、かなりの整備が必要となる。地権者の問題もある。

委員長：斎宮山の円墳が半分調査で壊されたと言ったが、このあたりは実際にはどうなっているのか。

事務局：斎宮山の件については、把握しきれていないところがある。また教えていただければと思う。

斎宮山が古墳群であるというのは承知しており、分布調査を2回ほどし、過去にあそこで銅鏃が出たということも四日市市史には記述されている。広い場所であり把握しきれていないところがあるので、委員にご教示いただければと思う。

周辺史跡の散策を計画してはどうかということで、例えば久留倍官衙遺跡まつりでは、史跡ウォーキングのルートとして天武天皇迹太川御遥拝所跡や、額突山の頂上の天武天皇神宮御遥拝所跡、浄恩寺などを入れて実施した。志氏神社あたりまで検討はしたが、遠くまで行くと交通量がかなり多い所もあり、実施方法について考えていたところである。ご指摘をいただいた点についてあらためて考えさせていただき、皆さんに久留倍官衙遺跡を含めた周辺の

歴史を理解してもらえる方策をとっていきたい。

委員：例えば富田駅から歩いて、くるべを通り志氏神社へ行って、阿倉川駅で解散というようなこともできる。また戻ってくるというのは大変なので行程の工夫はあるのかなと思っている。

事務局：必ず案内するという意味ではなくて各自で歩くということか。

委員：最初は案内が要るかもしれない。パンフレットに地図を書いて、説明文も入れ、志氏神社の前方後円墳が見られる、としてもいいかもしれない。解説してもらってもいいのではないか。

事務局：鉄道会社の企画だが、コースを作る際に鉄道会社が知りえていない情報を、我々が話をしながら作っていくとか企画をするというようなことも相談を受けたことがある。委員からはひとつの案を、アドバイスいただいたと思う。今後來園者数であるとか久留倍官衙遺跡を利用して来館者数を増やしていくための案としてできればと思う。

委員長：昔から糠塚古墳のあたりは、散策をすると学べるようになっている。所要時間等を含め、ここに行ったら文化財がありますなどのマップがあれば、マップを片手に行こうかなと思われる方もいると思う。すでにマップがあれば使えばいいし、なければわかりやすいマップを作るのもいいと感じる。わかりにくい所については簡単な道標も整備できればさらによいと思う。久留倍官衙遺跡単体ではやはりお客さんのリピーターを増やすというのも難しい現況があると思うので、周辺の歴史も含めて案内というのができればより望ましいのではないか。

事務局：秋の久留倍官衙遺跡まつりで計画するスタンプラリーでも参加者のみなさんにマップを持ち帰ってもらうため、スタンプラリーの範囲を含めて、見どころであるとか、マップを作っていき、もう1回行きたいと思う人にお渡しできるようどんどんマップを増やしていければとも考えている。いい案をいただいたかと思う。

委員長：来館者数が増える方向で、可能な範囲で工夫すればよいと思う。他にはいかがか。

委員：先日「YOU よっかいち」というミニ新聞がフリーペーパーで配達されており、その一部を持ってきた。その中に久留倍官衙遺跡の情報が載っていた。

これまで興味がなかった方も四日市に歴史があるということをこういう紙面で見ると、みなさんの記憶に残りやすいと思う。こういった形をまた働きかけていただいて「YOU よっかいち」以外にもいろいろあると思うので、フリーペーパーなども考えて、まったく興味のないような若い世代の方とか、新しく越してきたばかりだとか、そういう方の目にもにふれるような、活用をしていただけると広がりがあるのではないか。

事務局：最近では、「マツコ&有吉 かりそめ天国」という番組で久留倍官衙遺跡の空撮が取り上げられたところだ。名前は出なかったが、視聴者の方が来館され、「映っていた」と教えて頂いた。視覚で訴えるのも強いなと感じたので積極的に活用していきたい。

委員長：どうかよろしくお願ひしたい。他にいかがか。

委員：久留倍官衙遺跡まつりについて、地元中学校の生徒などを呼ぶことを考えていると思うが、子どもたちが出演すると、その保護者の方が来館と思う。今回のように地元の中学校にこだわらず、市内の小中学校や保育園、幼稚園、こども園に案内して来てもらえればいかなど

思う。そうしたら子どもについてご家族も来てもらえるので、すごくいいと思う。

それと地域に根差して活動している方たちには、地域で獅子舞や伊勢神楽に取り組んでいたりと、雅楽を10年ぐらいやっているというグループの人だったりとかがいる。そういう人たちは、演奏家に匹敵するようなものができるのではないかなと思う。

大矢知地区とか羽津地区の方だけでなく、市民参加で沢山のひとと音楽会をやったらいいかなと思う。もし1回で終わらなかつたら、年に何回かに分けてしてもらえたらいいかなと思っている。

久留倍官衙遺跡公園ボランティアの方でもお金をかけずにそういうイベントをして人を集める方法はないかなと考えている。ボランティアの中にはそういう事に関わっていらっしゃる人もいますので、これを市の方で企画していくと、ボランティアの方もどんどん協力できるかなと思っている。

委員長：事務局はいかがか。

事務局：今回の久留倍官衙遺跡まつりでは朝明中学校の吹奏楽部という話は、ボランティアのひとりから生まれた話をもとに、プロの演奏家でなくとも普段活動している市民の方であったり、学生さんであったりというようなことで実現したものである。委員もおっしゃったが、久留倍官衙遺跡まつりという形をとらなくても、日常的に容認していくことで、公園の活用につながるのではないかなという話も聞いている。去年、広報はしてないが、四日市花火大会を行う際、久留倍官衙遺跡公園がいい場所だということで300名以上の来園があった。駐車場に停まりきらないほどの人数の方が来たということがあった。日常的に公園を利用しながら、市民の方に広く活用してもらおうという意味で参考にさせていただきたい。

委員：2点、学校活用という点でお話させていただきたい。下野小学校は、大矢知興譲小とか八郷小のように数時間で久留倍官衙遺跡に見学に行くことは難しい。出前講座を2学期に活用させていただく計画をしている。

学習をきっかけに、休みの日に実際に家族に連れていってもらおうというようなことが出てくるのではないかなということを期待している。出前講座を学校にさらにアピールをしてもらえるといいのかなと思う。教職員の研究グループのうち、社会科の研究グループの中では情報も詳しく聞いているということもあるので、ぜひ活用したいと思っている話もしていたところだ。まだまだ認知が低い場合もあるかなと思っているので、さらに広めていければいいのかなと思っている。

夏休みに子ども向けの企画には何人ぐらい来てくれるのか。毎年企画はやっている感じか。

事務局：夏休みの企画は、子どもに自由研究に活用してもらいたいということで行っている。今回は解説会を1回増やし、子ども向けに解説している。子ども向けでないものにも何人も来ている。さらに藍染体験もしており、今回は2回に増やし、多く参加してもらえるように企画している。

委員：もう一点はミニ展示「くるべの万葉植物展」である。公園には万葉の植物が植わっている。

別の機会で「藤が満開です」というのをテレビで見ると、見に行こうと考える。ぜひアピールしてほしい。

委員長：貴重な提言であるので、事務局の方もこういった意見を踏まえてより良い方向に進めてほしい。

(5) 協議事項

事務局：(事業評価案について、事務局より提案)

委員長：令和5年度の目標として令和4年度の目標を踏襲したものがあがるが、変更された部分もある。

本日は具体的に令和5年度の目標について協議するのか。

事務局：この目標でいいのかどうかというところも協議いただきたい。

委員長：質問、意見などいかがか。

委員：異論なし。

委員長：事業評価案について承認したい。

(6) その他

委員長：その他について、事務局から何かあればお願いしたい。

事務局：特段なし。

委員長：委員からはいかがか。

委員：公園にある土嚢はいつなくなるのか。それと公園東斜面は植栽を根本的に考えてもらいたい。

雨水が流れやすく、表面を伝っていくというのは分かっているが、土嚢袋がおいてあるのはみっともない。芝は生えているのか。

委員：生えている。

委員：芝があるという程度である。

委員長：U字溝の設置を含めて排水系の改良に取り組まれていたのは知っているが、その効果はまだ不十分なところもあって土嚢を撤去するに至っていない、というご意見だと思う。事務局としていかがか？

事務局：昨年度、東斜面を横断するように側溝を入れた。つまり上段からの水を斜面の中段より下に流れないようにする工事をした。梅雨明けさらに台風の影響はどうかと観察している。大雨のとき、雨水を拾って流れていた。さらに様子を見たうえで土嚢を順次撤去できればと考えている。

また、植栽については何回か実施している。それなりに経費と努力、マンパワーも使っているが、どうしても安定しない。斜面ということもあるが、北勢バイパスが上を通っており日陰となっている部分でどうしても生えてこない影響があるのではないかと考えている。抜本的な対策ができればいいと考えているところである。

委員長：一定の効果はあるということで、これは委員も認めている。委員の言っていることもその通

りである。改善されつつあるということで、この後は秋の台風のシーズンを経て、土嚢の撤去を進めるのは可能であろうと思う。

その結果を見て土嚢の問題は撤去するかどうかを決めていけばと思うが、よろしいか。

委員：もう何年も土嚢を積んである。

委員長：あと数か月後のうちにはそのあたりの目処がつくのか。

事務局：台風の状況を見て撤去したい。

委員：バイパスの下は陰になっているから草は生えないというのは違うと思う。本格的な工事をする前、発掘をして土を埋めて、しばらくしたら草が生えた。北勢バイパスの下でも2mぐらい生えたので草刈りしている。

事務局：承知している。

委員：自分の背丈くらいの高さの草を刈っている。その時すでにバイパスは通っていた。

事務局：セイタカアワダチソウが繁殖していたと思う。今の植生を見るとセイタカアワダチソウはこの辺には生えていない。セイタカアワダチソウはとにかく生えさせないようにしている。そうすると、セイタカアワダチソウに勝てる、生えてくる植物がないかと思っている。前とはちょっと状況は違う。

委員：何か原因があるような気がする。

委員長：芝にこだわらなければ、もっと別の方策もあるのでは。

事務局：もともと芝ではなくシロツメクサとかいろいろ種とかを混ぜて吹き付けていたがバイパスの下だけが生えない。

委員：水が表面を流れているので種が水に流されているのではないか。

事務局：それはある。今草が生えているところはやっと生えてきたところである。

委員：北斜面は結構きれいに生えた。同じような斜面の角度なのに。東斜面がなかなか根付かない。側道側から上を見た時には見栄えのいいものではない。3分の2より上は斜面であっても、草刈りをやらないとみっともなくなるぐらい生えてくるわけなので、何とかしないとイケない。

委員長：排水経路の改良整備の後も、種の植付けをしているのか。

事務局：していない。

委員長：排水経路自体はかなり改善されているので、植え時もあるが状況を見て、もう一度種をまくのを試みるというのはひとつの手だとは思う。以前とは状況が違ってきている。植生の専門家・整備の専門家のご意見を踏まえながら、何とかいい方向にもって行ってほしい。地元で一番よくご存じの委員に知恵を拝借できればと思っている。順調に進めば土嚢も撤去できる。これで議事進行を事務局にお返りする。

(7) 閉会

事務局：これで終了させていただきたい。ありがとうございました。